

1. 実践研究校名・責任者氏名

ふりがな	つやましりつちゅうせいしょうがっこう	ふりがな	らくま しんいち
学校名	津山市立中正小学校	校長氏名	楽万 真一

2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	年間指導計画・年間研究計画立案		
5月	校内研究授業指導案検討		
6月	校内研究授業（5年・6年） 指導助言：市教委小林圓裕指導主査		
7月	校内研究（1学期の実践のまとめ） 津山市学校教育研究センター外国語活動部会夏季研修会 参加（講師：中国短大 名合智子教授） 久米中学校区英語活動連絡会（情報交換・教材開発）		津山市学校教育研究センター 外国語活動研修講座 津山市久米中学校区英語活動 連絡会
8月	A L Tと2学期授業打ち合わせ 津山市小学校英語活動研修講座参加		第1回外国語活動推進協議会 津山市小学校英語活動研修 講座
9月	第1回文部科学省のアンケートの実施		
10月	1日参観日で保護者・地域に公開 公開研究授業（市英語活動担当者研修会）指導案検討		
11月	研究のまとめ（中間期） 公開研究授業（市英語活動担当者研修会） 指導助言：県総合教育センター信宮誠指導主事 市教委小林圓裕指導主査	公開研究授業 （市英語活動担当者研修会）	小学校における英語活動等 国際理解活動指導者養成講座 美咲町立柵原東小学校外国語 活動公開研究会
12月	校内研究（2学期まとめ、指導力向上）		
1月	第2回文部科学省のアンケートの実施		第2回外国語活動推進協議会
2月	校内研究（2年次に向けて）報告書・指導案集作成 年間計画の見直し 津山市学校教育研究センター主催の他校の授業公開参加		津山市学校教育研究センター 外国語活動部会授業公開
3月	来年度の研究の方向について検討		
【その他の取組】 特記事項なし			

3. 取組の具体的な内容

- a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践
- 本校の英語活動に「英語ノート」の指導計画、学習内容のよさを生かす。
- ・第5学年及び第6学年における外国語活動の年間指導計画及び指導案を作成した。毎時間「英語ノート」を活用した授業案を作成し、授業を行った。
 - ・指導過程（導入・展開・終末）での効果的な活用を実践した。
 - ・デジタルコンテンツ教材等の効果的な活用場面について研究した。10月末にスマートボードを購入し、全員で研修した。デジタルコンテンツ教材を効果的に活用した。
- b 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究
- 外国語活動の目標に沿った評価の観点の設定や評価方法を探る。
- ・年間を見通した評価の場面・方法及び観点ごとの評価規準を作成した。
 - ・外国語活動の目標の3本柱のひとつである「コミュニケーションへの関心・意欲・態度の育成」の観点について3段階の評価規準を作成し学期末の評価に生かした。
- c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施
- 定期的なアンケート等の実施・分析によって子どもの興味・関心等、学習状況の変容を把握する。
- ・「①英語活動が好きですか？」「②英語が話せるようになりたいですか？」の項目について、5年生は、①で嫌いと答える子は0～1名で、高い数値で普段から好きと感じている。②についても、「なりたくない」の割合は20%で推移し、話せるようになりたいという気持ちが持続していた。
 - ・6年生は、単元毎（ほぼ毎月）に同じ項目でのアンケート調査そのものに対して拒否感を示し、①では、5月の93%は7月に60%と低下、②も5月の73%は54%と低下した。アンケート等の調査の内容及び回数については検討の必要を感じている。
 - ・9月末と1月末に文部科学省のアンケートを実施した。
- d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組
- 教師の指導方向上をめざし、研修内容を工夫する。
- ・「小学校における外国語活動のあり方」について校内研修を行った。
 - ・6月に津山市教育委員会小林指導主査を助言者として招聘し、外国語活動の校内研究授業（5・6年生）を行い、全職員で研究協議した。
 - ・夏季休業中に、津山市学校教育研究センター外国語活動部会主催の研修会（講師：中国短期大学 名合智子教授）に多数の職員が参加、英語ノートやデジタル教材の効果的な使い方について研修した。
 - ・夏季休業中に、久米中学区の小・中学校の英語活動担当で1学期の各小学校の外国語活動の様子を交流し、教材・教具についての研修を行った。
 - ・先進校をはじめとする他校の外国語活動の授業実践方法に関する研修を行った。
 - ・外国語活動の在り方や、具体的な活動についての共通理解を図るための校内研修を行った。

e	学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用
○	担任とALTの関わりの明確化を図り、効果的な指導方法を探る。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるそれぞれの効果的な役割分担ができるために、夏季休業中、HRTとALTが2学期の授業についての打ち合わせの時間をもった。 ・通常の授業については、十分な打ち合わせの時間が取りにくい。3学期は、次時の進め方について、コーディネーターが打ち合わせをし、効果的な活用の方法を検討した。
f	他の小学校や中学校等との連携
○	小学校の外国語活動の取組を発信し、共有化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・津山市外国語活動担当者会及び久米中学校区の英語活動連絡会をもち、情報交換や授業公開を行った。また、小中連携事業の一環として7月に久米中学校の一年生の英語の授業参観をし、11月の本校の公開研究会には、久米中学校の英語科の教員に、英語活動の授業を参観してもらうことができた。 ・夏季休業中に、久米中学校区の英語活動担当者会をもち、1学期の各小学校の外国語活動の様子を交流して課題を出し合った。その後、教材作りを行った。
g	その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）
○	地域に学校便り等で授業の様子を伝え、学校公開日に参観できる機会をもった。

4. 年間指導計画及び指導案

別添資料参照。

5. 取組の成果等

<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を見直すとともに、英語ノートを活用した授業の指導案を毎時間作成することや校内研修で外国語活動の指導法等について研修することにより、学校全体で外国語活動についての教員の指導力が向上した。 ・ALTとの連絡、調整、授業の打ち合わせをコーディネーターが中心となってい、ALTとの連携がスムーズに進んだ。年間を通じてHRTが中心となり授業を進め、ALTと効果的な役割分担ができようになってきた。 ・英語ノートと組み合わせている教材を活用し、効果的な指導ができるよう工夫することができた。 ・学習過程をパターン化し、大まかな授業の流れを提示したことで、児童が見通しをもって学習に取り組めることができた。 ・全体の場での活動の前にグループ内の活動や発表を取り入れることで、友だち同士で教え合うことができ、場数も踏み、児童は自信をもって活動することができた。 ・アンケートによると6年生は、「①英語活動が好きですか?」「②英語が話せるようになりたいですか?」が①では、5月の93%は7月に60%と低下、②も5月の73%は54%と低下した。しかし、その後メインピックの前にウォーミングアップを十分とることで活動の楽しさを感じ、3月には、①は67%、②は87%まで回復した。今後も児童の関心を高める授業展開を工夫していきたい。 ・デジタルコンテンツは、音声と絵が同時に使え、聴かせたい音声をすぐに、何度でも呼び出せる利点がある。一方、手間取らずに活用できるアナログ教材の良さも考慮して、児童が積極的にコミュニケーションに取り組めるように視聴覚教材を工夫した。 ・HRTは授業を進めることが手一杯で、最初は十分に評価する余裕がなかった。また、評価するタイミングがつかみにくいため、児童に対して誉め言葉による評価を行うことができていなかった。しかし、評価の言葉の一覧表を作って手元に置いたり、視覚的に示したりして工夫することで、活動中や授業の終わりに積極的に評価を行えるようになってきた。

6. 次年度以降の継続・展開

<ul style="list-style-type: none"> ・「英語ノート」を使用することで、「書く」活動が増えた。「書く」活動は学習全体の流れを止めることもある。1時間の学習活動の中で、「書く」活動をどの程度取り入れるかを検討していきたい。 ・外国語活動の目標の3本柱に沿って、評価の観点、評価規準、評価の方法について研究を継続し、一単元の中で適切な評価ができるよう研究を継続していく。 ・平成22年度「小学校外国語活動推進事業」の県指定を受け、小学校における外国語活動の円滑な導入を図るための研究実践に取り組む予定である。

外国語活動年間指導計画 第5学年(35時間) 津山市立中正小学校

単元	タイトル	指導内容				使用表現
		第一時	第二時	第三時	第四時	
Lesson1	世界の「こんにちは」を知ろう	・世界には様々な挨拶があることを知る。	・挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	・友だちと挨拶をし、サイン交換をする。		What's your name? My name is Ken. Nice to meet you. 等
Lesson2	自己紹介をしよう	・好き嫌いについて聞き取る。	・自分の好き嫌いを相手に伝える。	・友だちに好き嫌いを尋ねる。	・自分の好きなものを含めて、自己紹介する。	Do you like apples? Yes, I do. / No, I don't. I like bananas. Thank you. 等
Lesson3	数で遊ぼう	・世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1から20までの数を言う。	・世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1から20までの数と30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100の数を言う。	・いくつか尋ねたり、1から100までの数で答えたりする。	・数を扱ったゲームを友だちと行う。	How many? Five. 等
Lesson4	自分の気持ちや様子を表現しよう	・様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーを使う。	・体調を表す表現を知る。	・友だちの体調を尋ねたり、いたわりの言葉をかけたりする。	・感情や様子を、ジェスチャーを交えて表現し、伝える。	How are you? I'm happy. I have a cold. Take care. What's wrong? I don't like blue. 等
Lesson5	いろいろな衣装を知ろう	・世界には様々な衣装があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・自分の意見をはっきり言うことの大切さに気付くとともに、衣服を買う場面で使われる表現を知る。	・好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物でできるように声をかけたりして買い物を楽しむ。	・聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。	What do you want? Melon, please. 等
Lesson6	外来語を知ろう	・外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。	・相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	・欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る。	・作ったフルーツ・パフェを紹介する。	What's this? It's a pencil. 等
Lesson7	クイズ大会をしよう	・英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。	・「What's this?」の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	・「What's this?」を使って尋ねる。	・友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。	I study Japanese. 等
Lesson8	時間割を作ろう	・外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。	・教科名や曜日を使ったゲームを積極的にする。	・作成した自分のオリジナル曜日時間割を友だちに伝える。	・グループで作成した時間割を発表する。	
Lesson9	ランチ・メニューを作ろう	・日本と外国とでは、朝食時に食べるものが異なっていることを知らせる。	・食べ物や料理を表す語を知る。	・丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。	・グループで作成したスベシヤル・ランチを紹介する。	What would you like? I'd like juice. 等

外国語活動年間指導計画 第6学年(35時間) 津山市立中正小学校

単元	タイトル	指導内容				使用表現
		第一時	第二時	第三時	第四時	
Lesson1	ALTの先生や友だちと交流しよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知っている英語を使って自己紹介したり、ALTの話聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちに好き嫌いを尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の様子をALTに紹介したり、英語で何と言ったのかを覚えてもらったりして交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> What's your name? My name is Ken. Nice to meet you. I like English. 	等
Lesson2	アルファベットで遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの文字の読み方を知り、アルファベットの読み方と大文字とを一致させようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットに興味を持ち、アルファベットの読み方を聞いて、大文字とその読み方とを一致させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らアルファベットの文字を読み、アルファベットの読み方と大文字とを一致させる。 	<ul style="list-style-type: none"> What's this? It's — A~Z 	等
Lesson3	いろいろな文字があることを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには大文字と小文字との2種類があることを知るとともに、21以上の数を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの小文字に興味を持ち、小文字を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らアルファベットの文字を読み、小文字とその読み方とを一致させる。 	<ul style="list-style-type: none"> What's this? It's — a~z 	等
Lesson4	友だちの誕生日を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 日本の行事や特徴を確認し、行事の行われる月の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の誕生日(月)を言う。 序数の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> When is your birthday? My birthday is March 3rd. 	等
Lesson5	できることを紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問に答えて、自分のできるところと、できないことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとどのようなのかなんかできるのかを、尋ねたり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> Can you swim? Yes, I can. / No, I can't. I can swim. / I can't swim. 	等
Lesson6	道案内をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的の場所を教える。 	<ul style="list-style-type: none"> Where is the flower shop? Go, straight. / Turn right./ left. / Stop. 	等
Lesson7	行ってみたい国を紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> 世界には様々な英語があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国を尋ねたり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> I want to go to Italy. / Let's go. 	等
Lesson8	自分の一日を紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> 世界には時差があることを知るとともに、時間についての表現を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生の一日の生活について話を聞き、その概要を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活に関する表現(生活表)を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> What time do you get up? At 7:00. / I go to bed. 	等
Lesson9	将来の夢を紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> 様々な職業の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な職業の言い方に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来つきたい職業について尋ねたり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> What do you want to be? I want to be a teacher. 	等

1. 単元名 : 世界の「こんにちは」を知ろう
2. 本時のねらい : 友だちと挨拶をし、サイン交換をする。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Chant	<ul style="list-style-type: none"> ・CDに合わせて“Hello Chant”を言う。 ・指名された児童は、“My name is ~.”の名前の部分に自分の名前を入れてチャンツを言う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">◎ “Hello Chant” を言う。</div>		CD
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 「友だちとあいさつをして、サイン交換をしよう。」 “What’s your name?” “My name is ~. Nice to meet you.” </div>		柔らかいボール
・Let’s Listen	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの読むスクリプトを聞いて、英語ノートの四角に番号を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノート p. 8 【Let’s Listen】の絵の4人が挨拶合っている状況を説明する。 ・英語ノートの絵で示されているように、名前を伝え合う際には、互いに目を見ながら自己紹介することが大切であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノートのどの子どもの挨拶かを聞き取って、p. 8の四角に番号を入れるように指示する。 ・スクリプトを読む。 	英語ノート
・Activity2	<ul style="list-style-type: none"> ・サイン交換の方法を知る。 ・自己紹介をしてサイン交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイン交換の方法をデモンストレーションで示す。 ・相手の目を見て自己紹介することを意識付けさせるために、デモンストレーションで互いにしっかり相手の目を見ながら行うようにする。 		サイン・カード 鉛筆
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよかったところを言う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> サイン・カード Name _____ 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. </div>

4. 評価規準 : 積極的に友だちに声をかけることができたか。
5. 指導後の反省等 : 準備時間の節約のために名刺ではなくサイン・カードにしたが、ローマ字が苦手な児童も日本語で書かず、自分のネームタグを見ながらローマ字で書くことができていた。相手のカードに自分の名前を書き込む活動も、いろいろな相手と関わられたのでよかった。

1. 単元名 : 数で遊ぼう
2. 本時のねらい : 数を扱ったゲームを、友だちとやり取りしながら楽しむ。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Song	<p>◎ “Ten steps” “Twenty steps”を歌う。</p> <p>・ジェスチャーをつけたり、指定された数を発音しなかったり等、様々な方法で “Ten steps”を歌う。</p>	<p>・ “Ten steps” “Twenty steps”を歌うことを告げる。</p> <p>① “Ten steps”を歌う。</p> <p>②数を11～20に替えて “Twenty steps”を歌う。</p> <p>③ジェスチャーを付けたり、指示された数字を抜き、その代わりに手をたたいたりして歌う。</p>		CD
Main Topic	<p>・ 本時のめあてを知る。</p>	<p>「数をつかったゲームをしよう。」</p>		
・ Activity	<p>・ “ワオ・ゲーム (Wow Game)” のやり方を知る。</p> <p>・ 5人ずつで円を作り、ゲームをする。</p>	<p>・ “ワオ・ゲーム (Wow Game)” をすることを告げ、やり方を説明する。</p> <p>・ ALT、HRTもいずれかのグループに入ってゲームに参加する。</p> <p>・ 慣れてきたら、キー・ナンバーを決め、その番号を言われたときも “twenty” の時と同様にする。</p>		
・ Let's Play2	<p>・ “スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム” のやり方を知る。</p> <p>・ 順番を決め、ゲームをする。</p>	<p>・ グループで “スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム” をすることを告げる。</p> <p>・ グループに1枚のゲーム・シートを配る。</p> <p>・ 各自、自分の消しゴムをコマにするように指示する。</p> <p>・ はやく終わったグループには、マスの数字がランダムになったものに挑戦してもよいことを話す。</p>		<p>ゲーム・シート (マスの数字が順に並んだものとランダムになったもの) 消しゴム</p>
Closing	<p>・ 振り返りをする。</p>	<p>・ 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。</p>	<p>・ 児童の英語についてよかったところを言う。</p>	

4. 評価規準 : 積極的にゲームに参加し、友だちと関わりながら楽しもうとしているか。
5. 指導後の反省等 : 数多く数字を口にしたり簡単に楽しめたりするということで、ここでは “ワオ・ゲーム (Wow Game)” を扱った。初めて取り組んだが、すぐルールを理解し、積極的に取り組めた。 “スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム” も2回目だったのですぐに楽しめたが、ジャンケンをするとき相手をゴールさせないように同じ手しか出さずにゲームが進まなくなるグループが続出した。サイコロを使ってもよかった。

1. 単元名 : 自己紹介をしよう
2. 本時のねらい : 好き嫌いについて聞き取る。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Chant	◎ “バナナじゃなくて banana チャンツ” を言う。			ネームタグ
Review and Warm up	・食べ物・動物・スポーツの単語を思い出す。	・ALT についてリピートさせる。	・正しい発音を示す。	CD
Main Topic	<p>・本時のめあてを知る。</p> <p>・HRT、ALT の好きなもの、嫌いなものを聞く。</p> <p>・質問に答える。 Yes. / No.</p>	<p>「友だちの好きなもの嫌いなものについて聞き取ろう。」 “I like ~.” “I don't like ~.”</p> <p>・絵カードを見せながら、自分の好きなもの、嫌いなものを紹介する。</p> <p>・ALT の話を聞いて、あいづちを打ったり、聞き返したりする。</p> <p>・絵カードを提示し、児童にそれぞれが好きか嫌いかを尋ねる。</p>	<p>・HRT の話を聞いてあいづちを打ったり、聞き返したりする。</p> <p>・絵カードを見せながら、自分の好きなもの、嫌いなものを紹介する。</p>	絵カード (食べ物・動物・スポーツ)
・Let's Listen	<p>・質問に答える。 Yes. / No.</p> <p>・ALT の読むスクリプトを聞いて、英語ノートの上段の人物と下段の絵とを線で結ぶ。</p> <p>・絵カードの中から自分の好きなもの (嫌いなもの) を紹介する。 I like ~. I don't like ~.</p>	<p>英語ノート p.24 の下段の絵カードを見せ、それらが好きかどうかを尋ねる。</p> <p>・ALT の読むスクリプトを聞いて、上段の人物と下段の絵とを線で結ぶよう指示する。</p> <p>・答えを確認する。</p> <p>・自分で選んで言えない児童には、絵カードを1枚選んで好きかどうかを尋ねる。</p>		英語ノート
Closing	・振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : 友だちの好きなものや嫌いなものについて聞き取ろうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : 本校の児童はチャンツに慣れておらず前单元では声が出にくかったため、ここでは意味のわかりやすい「バナナじゃなくて banana チャンツ」を利用した。既習事項だったので、安心して取り組んでいた。

1. 単元名 : 自己紹介をしよう
2. 本時のねらい : 自分の好き嫌いを相手に伝える。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Chant	<ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◎ “Do you like apples?” を言う。</p>		CD 絵カード (食べ物・動物・スポーツ)
Review	<ul style="list-style-type: none"> “Do you like apples?” を言う。 グループに分かれてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童を、質問する側、答える側の2グループに分け、グループで掛け合ったり単語を入れ替えたりして、チャンツを言わせる。 犬、りんご、サッカーボールの絵カードを見せながら、それらが好きかどうか互いに尋ね合い、児童にも尋ねる。“No, I don't. I don't like ~.” についてもデモンストレーションしておく。 		
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを知る。 	<p style="text-align: center;">「自分の好きなもの嫌いなものを伝えよう。」 “Do you like ~?” “I like ~.” “I don't like ~.”</p>		
Let's Listen	<ul style="list-style-type: none"> ALTの読むスクリプトを聞いて、3人の好き嫌いに合わせて英語ノート p.26 に○、×を書き入れる。 答え合わせをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ALTの読むスクリプトを聞いて、Ken, Emi, Maiの好みを聞き取るよう指示する。 答え合わせをするとき、児童がKen, Emi, Maiになって返事をするようにしてチェックするようにする。 	英語ノート
Activity	<ul style="list-style-type: none"> HRTが見せるカードに描いてあるものを、ALTが好きかどうか予想をする。好きだと思えば○の方へ、嫌いだと思えば×の方へ移動する。 全員でALTにそれが好きかどうかを尋ねる。 <p style="text-align: center;">Do you like ~?</p>		<ul style="list-style-type: none"> 黒板を半分に分け、左に○、右に×を書く。児童に「○×クイズ」をすることを告げ、そのやり方を説明する。 ALTの代わりに質問に答えるボランティアを児童から募る。 ALTのときと同様に「○×クイズ」をする。 	絵カード
Activity 1	<ul style="list-style-type: none"> 英語ノート p.28 のシートの「好きなもの」の欄に、自分の好きなものの絵を描く。 		<ul style="list-style-type: none"> 英語ノート p.28 を開け、自分の好きなものを【Activity 1】のシートの「好きなもの」の欄に描くよう指示する。(カテゴリーを決めて) 	英語ノート
Closing	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : 自分の好きな物や嫌いな物について答えることができたか。
5. 指導後の反省等: 児童は、ALTの好き嫌いを予想して尋ねる活動に大変興味を持って取り組めた。また、その時間授業参観に来ていた他の本校教師にも同様に質問をし、積極的に声を出すことができた。

1. 単元名 : 自己紹介をしよう
2. 本時のねらい : 自分の好きなものを含めて自己紹介をする。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Chant	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDに合わせて “Do you like apples?” を言う。 ・ グループに分かれてチャンツを言う。 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◎ “Do you like apples?” を言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童を、質問する側、答える側の2グループに分け、グループで掛け合ったり単語を入れ替えたりして、チャンツを言わせる。 		<ul style="list-style-type: none"> CD 絵カード (食べ物・動物・スポーツ)
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあてを知る。 ・ Activity2 ・ 自己紹介の仕方を知る。 <p>Hello. My name is ~. I like ~. Thank you.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介の練習をする。 ・ 自己紹介をする。 	<p style="border: 2px solid black; padding: 5px;">「自分の好きなものをふくめて自己紹介をしよう。」 “My name is ~.” “I like ~.”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語ノート p.28 をもとに自己紹介をすることを告げる。 ・ やり方をデモンストレーションで示す。スピーチをする際には、最初に挨拶をし、礼を言って終わること、聞き手にわかってもらえるような話し方を意識することが大切であることを伝える。 ・ グループごとに自己紹介の練習をするよう告げる。 ・ 児童の自己紹介発表についてコメントを言う。ALTは英語の部分について、学級担任は発表態度についてコメントを言う。 		英語ノート
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : 自分の好きなものを含めて自己紹介をしようとしていたか。
聞き手を意識して話そうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : まずグループごとに自己紹介の練習をしていたので、全体の場でするときも自分から立候補して自己紹介する児童がいた。時間が足らず、全員の発表とはならなかった。

1. 単元名 : いろいろな衣装を知ろう
2. 本時のねらい : 好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるような声かけをしたりして、買い物を楽しむ。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Song and Chant		◎ “Let’s Start English Class” を歌う。		
		◎ “セーターじゃなくて sweater” を言う。		CD
Review and Warm up	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服絵カードを使ってカルタ遊びをする。 ・何枚が取れたか数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャル・カードを紹介し、ポイントをプラサさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート前の手の位置を英語で指示しておく。 ・何ポイント取れたかを尋ね、称揚する。 	衣服絵カード
Main Topic ・Let’s Listen	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 ・英語ノートp.33の絵を見て、それぞれの場面に合った店員と客のせりふを考えて発表する。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「買い物をしよう」 “Do you have ~?” “ ~, please.” </div>		
・Activity	<ul style="list-style-type: none"> ・列ごとに店員と客の役割分担をし、せりふの練習をする。役割交代しながら何度か練習する。 ・店員と客との2グループに分かれる。店員は巻末絵カードを机に並べる。客は自分の欲しい衣服など4種類(帽子、上着、ズボンやスカート、靴下、靴)を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・尋ねる衣服の種類を、カードで示す。 ・Yes/No うちわで、返答を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に大きな声でせりふを言う。 	衣服絵カード Yes/No うちわ
・Let’s Chant		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物をすることを告げ、やり方を説明する。 ①児童は店員と客との2グループに分かれる。時間がきたら、役割を交代する。 ②班に1枚ずつホワイトボードを配布する。 ③客役の時に集めた衣服を組み合わせてボードに貼る。 ④次時にみんなに発表することを告げる。 </div>		色をつけた巻末絵カード
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・“Do you have a cap?” のチャンツを言う。 ・振り返りをする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服絵カードを見せながらチャンツを言う。 ・チャンツに合わせて、衣服絵カードを指し示すことにより、児童に衣服の言い方がよりわかるようにする。 </div>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよ 	

4. 評価規準 : 自分の欲しい衣服を相手に伝えることができたか。
5. 指導後の反省等 : 巻末絵カードに児童が色を塗る際、基本の色を決めて塗らせておかないと、アクティビティで欲しい衣服を要求するとき、色の指定がしにくくなる。

1. 単 元 名 : 外来語を知ろう
2. 本時のねらい : 相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song and Chant				ネームタグ CD
Warm up	・英語ノート p.36, 37 の絵を使ってキー・ワード・ゲームをする。	・ペアで犬役とハンバーガー役になって行うことを話す。		英語ノート p.36, 37の絵 と同じ絵カ ード
Main Topic	・本時のめあてを知る。	「ほしいものをたずねたり答えたりする言い方を知ろう。」 “What do you want?” “~, please.”		
・Let's Listen 1	・英語ノート p.38 を開け、やり方を知る。	・スマートボードを使い、やり方を説明する。 ・国旗や食べ物の絵を指し示しながら、発音の確認をする。 ・英語ノート p.38 の4人の子どもが好きな食べ物を言うのを聞いて、子どもたちと右の食べ物とを線で結ぶ。 ・数人の児童に前に出てきてもらい、スマートボードを操作させて答えを確認する。 ・外来語のもとが英語だけでないことに気付かせる。		英語ノート スマートボ ード
・Let's Listen 2	・ALTの SCRIPT を聞いて、健と麻衣とが何を注文したかを聞き取り、それぞれを○と□で囲む。 ・自分の欲しい食べ物を答える。	・英語ノート p.39 を開け、【Let's Listen 2】のやり方を説明する。 ・健と麻衣の例から、“~, please.”と答えればよいことに気付かせる。	・食べ物絵カードを見せながら、どの食べ物が欲しいかを尋ねる。 “What do you want?”	英語ノート 食べ物カー ド
・Let's Chant	“What do you want?” のチャンツを言う。	・食べ物カードを見せながらチャンツを紹介する。		ゆっくり C D
Closing	・振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : 自分の欲しい食べ物をメニューから選んで答えようとしていたか。
5. 指導後の反省等 : スマートボードを初めて活用したが、音声と絵が一致したり、操作の楽しさがあったりして、児童の意欲を喚起した。

1. 単 元 名 : 外来語を知ろう
2. 本時のねらい : 作ったフルーツ・パフェを紹介する。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Song and Chant		◎ “Let’s Start English Class” を歌う。 ◎ “バナナじゃなくて banana ”を言う。		CD
Review and Warm up	・ 4人グループに分かれ、果物絵カードを使ってカルタ遊びをする。	C : Children HRT&C: What do you want? ALT: Melon, please. HRT&C: What do you want? ALT: Kiwi, please.		果物絵カード
Main Topic	・ 本時のめあてを知る。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「食べたいフルーツ・パフェを紹介しよう」 “What do you want?” “~, please.” </div>		
・ Let’s Chant	・ 2つのグループに分かれてチャンツを言う。 “What do you want?”	・ “What do you want?” のグループと一緒に言う。	・ “~, please.” のグループと一緒に言う。	英語ノート付属 CD
・ Activity1	・ ALTとHRTの話聞いて、2人が食べたいフルーツ・パフェを答える。 ・ 友だちの食べたいフルーツ・パフェを答える。	◎前時に児童が作ったいくつかのフルーツ・パフェを、中味を確認しながら黒板に貼っていく。 ◎HRTとALTの食べたいフルーツ・パフェの中味を順に言い、どのフルーツ・パフェかを児童に当てさせる。 “What do you want?” “~, please.” ◎数人の児童に、同じ要領で自分の食べたいフルーツ・パフェを紹介させる。		フルーツ・パフェの絵カード
・ Activity2	・ 友だちの食べたいフルーツ・パフェを作る。 ・ 全体で ・ ペアで ・ 代表で	◎HRTが店員、ALTが客になって、ALTの食べたいフルーツ・パフェを作り、紹介する。 ◎全体を店員と客のグループに分け、交替しながらやり取りの練習をさせる。 ◎ペアでやり取りの練習をさせる。 ◎スマートボードを使って、友だちの食べたいフルーツ・パフェを代表児童に作らせる。時間があればできるだけ多くの児童に経験させる。		スマートボード
Closing	・ 振り返りをする。	・ 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・ 児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : 自分の食べたいフルーツ・パフェを紹介することができたか。
友だちの食べたいフルーツ・パフェを理解しようとしていたか。
5. 指導後の反省等 : いろいろなパターン (状況設定) で “What do you want?” を使うことができた。
英語ノート付属のデジタルコンテンツ教材のフルーツ・パフェが、色鮮やかで様々な盛り付け方ができ、楽しく活動するのに効果的であった。

1. 単元名 : クイズ大会をしよう
2. 本時のねらい : “What’s this?” の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームタグ
Song	◎ “Let’s Start English Class” を歌う。			
Warm up	・ “What’s this?” のチャンツを言う。	・ CD を聞かせ、チャンツを紹介する。 ・ 疑問文を言うグループを担当する。	・ 応答文を言うグループを担当する。	CD
Main Topic	・ 本時のめあてを知る。	「“What’s this?” をつかってクイズをしよう。」 “What’s this?” “It’s a ~.”		
・ Activity 1	・ 窓のあるケースに入れてあるカードの絵が何であるかを当てる。 It’s a ~.	・ ケースに入った絵カードを示し、それが何であるかを児童に当てさせる。 “What’s this?” ・ ヒントとして小さな窓（番号入り）をひとつずつ開けていく。ヒントがほしい時は、“No.2, please.” のように頼むことを知らせる。 ・ 絵カードを見ながら発音の確認をさせる。		絵カード 窓付きケース
・ Activity 2	・ スリー・ヒント・クイズに答える。 ・ グループでスリー・ヒント・クイズを作る。 ・ グループで作ったスリー・ヒント・クイズに全員で答える。	・ 見えないようにしたカードを示す。“What’s this?”	・ 3つの英単語とジェスチャーでヒントを示す。	絵カード
Closing	・ 振り返りをする。	◎児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	◎児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : ヒントを要求したり、クイズの答えを予想して答えたりしようとしていたか。
グループの友だちと一緒にスリー・ヒント・クイズを作ろうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : グループでヒントを作る時、知っている単語を出し合い活発に相談ができた。
実際のクイズになると、ヒントはよく聞けたが “It’s a ~.” を省きがちであった。

1. 単 元 名 : クイズ大会をしよう
2. 本時のねらい : 友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song		◎ “Let’s Start English Class” を歌う。		ネームタグ CD
Review and Warm up	・質問に答える。 ・“What’s this?” の チャンツを言う。	・絵カードの一部を見せ、それが何かを尋ねる。 ・絵カードでスクリプトを 示し、CD をかける。	・一緒にチャンツを言 う。	絵カード (あ るいは実物) CD
Main Topic	・本時のめあてを知 る。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 「“What’s this?” をつかってクイズ大会を しよう。」 “What’s this?” “It’s a ~.” </div>		絵カード
・Activity	・グループごとにク イズのヒントを作 る。 ・他のグループが作 ったスリー・ヒント・ク イズに答える。 It’s a ~.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・前時にグループごとに撮った写真を使ってク イズ大会をすることを話す。 ・1枚の写真につき3つずつヒントを考えるよ うにさせる。 ・グループの相談に加わり、ヒント作りのアド バイスをする。 ・ヒントは、友だちの知っているような英単語 やジェスチャーにするように話す。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> スリー・ヒント・クイズ ・前に出たグループが、ある部分だけをアップ にして撮った写真を示す。 ・問題を出すときはグループ全員で “What’s this?” を言う。 ・3つの英単語とジェスチャーでヒントを示す。 ・新しいヒントを出すたび、グループ全員で “What’s this?” という。 ・正解が出たときは、“That’s right.” の後に、 グループ全員で “It’s a ~.” という。 ・途中のヒントで正解が出たときも、確認の意 味で残りのヒントを言う。 </div>		グループご とにデジカ メで撮った 写真(全体の 写真・部分を アップした 写真)数枚
Closing	◎振り返りをする。	◎児童の英語を使おうと する態度面についてよか ったところを言う。	◎児童の英語について よかったところを言 う。	

4. 評 価 規 準 : グループの友だちと一緒にスリー・ヒント・クイズを作ろうとしていたか。
習ったフレーズを使ってクイズをしたり答えたりしようとしていたか。
5. 指導後の反省等 : 一人1つずつクイズを出すことができ、どの児童も満足感を持っていた。
部分をアップした写真は、白黒にすると、難易度が上がり色のヒントも使えるようになるので、おもしろくなる。

1. 単元名 : アルファベットで遊ぼう
2. 本時のねらい : アルファベットの大文字を見て、自らそれらを読もうとし、アルファベットの大文字とその読み方とを一致させる。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームプレート
Song	◎ “The Alphabet Song” を歌う。			CD
Review ・ Let's Play1	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット・パズルをして、それぞれが何という文字かを答える。 ・他のアルファベットのパズルをする。ペアを見つけたら2人でALTの前に並び 答えを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノートp.8のパズルを見て、どれとどれとが一致するかを考えさせ、左側と右側とを線で結ぶようにさせる。 ・実際に、8枚のパズル・カードを組み合わせて、児童の指示で文字を作ってみせる。 ・他のアルファベットについても児童に半ピースずつ配布し、合わせて1つの文字になるピースを持つ相手をさがさせる。 		英語ノート 大文字アルファベット・カード
Main Topic ・ Let's Play2	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 ・答えを予想する。 ・名前のつづりを聞いて、四角い枠の中に順に文字を書き写し、名前を完成する。 	「アルファベットの大文字を読もう。」		
・ Activity	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や身の回りのもの、持ち物の中から、アルファベットの大文字を探す。探し出したアルファベットの大文字を英語ノートp.9の表に書き写す。 ・探し出したアルファベットの大文字やつづりを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノートp.8の3人の顔の絵を見せながら、それらが誰かを尋ねる。 ・答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを簡単な英語で言う。 ・名前のつづりを言う。 	英語ノート 大文字アルファベット・カード
		<ul style="list-style-type: none"> ・教室の中を見回し、アルファベットの大文字を見つけ、児童に紹介する。 ・教室の中や身の回りからアルファベットの大文字を探すように指示する。 ・大文字アルファベット・カードを見せながら、見つけた文字を確認する。 		英語ノート 大文字アルファベット・カード
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : アルファベットの大文字とその読み方とを一致させることができたか。
アルファベットの大文字を見て、自らそれを読もうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : アルファベット・パズルは児童が喜んで取り組んだが、声を出して相手を探していたので、すぐに相手を見つけていた。黙って探すルールにしておけば、パズルの形を見せ合うために多くの友達と関わることもできたと思う。
身の回りのものから大文字を探し出す活動で、身の回りには大文字と小文字の交ざったものが多く、小文字を教えていない段階でそれをどう処理してよいか迷った。

1. 単元名 : いろいろな文字があることを知ろう
2. 本時のねらい : 身の回りにあるアルファベットの表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字を書き写し、紹介し合う。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song	<p>◎ “The Alphabet Song” を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字カードを見ながら歌う。 ・アルファベット・カードを見ながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞に合わせてカードを指さすことで、児童に数字の読み方を十分に理解させる。 ・同じメロディーで歌詞をアルファベットに替えて歌う。 		ネームプレート CD 数字カード アルファベット・カード
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 	「見つけたアルファベット表示を紹介しよう。」		
・ Activity1	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、英語ノートp.14で見つけ出したアルファベット表示を紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に英語ノート p.14 の絵の中から見つけ出したアルファベット表示を、グループ内で紹介し合うように指示する。 ・町の様子拡大絵を見せながら、見つけ出したアルファベット表示をクラス全体で確認する。 		英語ノート 町の様子拡大絵
・ Activity2	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTの見つけたアルファベット表示が何であるかを、ヒントをもとに当てる。 ・各自が身の回りから見つけ出したアルファベット表示をグループのメンバーと紹介し合う。 ・HRTのクイズの出し方を参考に、グループでアルファベット表示をいくつか選び クラスのみんなにどのようなヒントを出してクイズ形式で紹介するかを相談する。 ・グループごとにアルファベット表示を紹介する。 ・ヒントを聞いて、それがどのようなアルファベット表示かを答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTが身の回りから見つけたアルファベット表示を、クイズ形式で紹介する。 ①言葉で3つのヒントを出し、それがどのような表示であるかを推測するように言う。 ②むずかしい場合は、アルファベット表示を書いた用紙の一部(上半分や下半分)を見せる。 ③用紙を見せ、どのような表示かを児童と確認する。 ・グループで相談して、自分たちが身の回りから見つけ出したアルファベット表示(前時に出されていた家庭学習の課題)からいくつかを選び、クイズ形式でクラス全体で紹介することを告げる。 ・英語ノートp.15の表で紹介した人の名とアルファベット表示を書き込むように指示する。 		英語ノート 各自が見つけたアルファベット表示を書いたカード グループで選んだアルファベット表示を書き写すクイズ用カード
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : 身の回りにあるアルファベット表示に興味を持つことができたか。
アルファベットの大文字小文字を書き写し、紹介することができたか。
5. 指導後の反省等 : スリー・ヒント・クイズの問題作りのとき、各グループでよりおもしろい問題を作ろうと協力する姿が見られた。
どの児童もみんな前に出て、自分の言葉で3つのヒントを出すことができた。

1. 単元名 : 友だちの誕生日を知ろう

2. 本時のねらい : 自分の誕生日(月)を言う。
序数の言い方を知る。

3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームプレート
Song		◎ “Twelve Months” を歌う。		ト
Main Topic	・月カードを見ながら歌う。	・月カードを黒板に貼り、歌詞に合わせてカードを指さす。		CD
	・本時のめあてを知る。	「月や誕生日をつかって、ゲームをしよう。」 “When is your birthday?” “My birthday is～.”		月カード
	・Let's Play ・キー・ワード・ゲームをする。 What month is it? ・獲得ポイントの確認をする。	・ゲームのやり方をデモンストレーションで示す。 ・児童に質問させ、ALTが答える形でゲームを進める。		消しゴム
・Activity	・ミッシング・ゲームをする。	・ゲームのやり方を、月絵カードを黒板に貼って示す。 ・慣れてきたら、隠すカードの数を増やしたり、カードの並べ方をばらばらにしたりして、難易度を上げる。 ※絵カードに月を表す数字のないものを使うとより難易度が上がる。		英語ノート
	・2グループに分かれて、順に代表が前に出て1対1で対戦する。 ・日本語で答えたら1点、英語で答えたら2点がもらえ、グループの合計点を競う。	・英語ノート p.18にあるカレンダーの()に自分の生まれた月の数字を書き、誕生日を○で囲むように指示する。 ・ALTが言う日付の言い方を聞いて、自分の誕生日の言い方を聞き取らせるとともに、序数の言い方を確認させる。 ・日本でも単に9(きゅう)ではなく、日付のときは9日(このか)と言うことなどを例にあげる。 ・ “When is your birthday?” “My birthday is～.” を使えるように支援する。		
Closing	・振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : 月の言い方に慣れ、自分の誕生日を答えることができたか。

友だちとゲームを楽しむことができたか。

5. 指導後の反省等 : Activity では、自分の誕生日(月)を答えたり質問したりすることが、やり方かえて何度もできた。

順番に言わないと月の名前が言えない児童もいるので、日頃から繰り返し使うことが必要である。

1. 単 元 名 : できることを紹介しよう
2. 本時のねらい : 友だちと互いにどんなことができるかを尋ねたり、答えたりする。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームプレート
Song and Chant				CD sing, fly, swim の絵カード
Review and Warm up	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、動作絵カードを使ってカルタ遊びをする。 ・何枚取れたかを数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・sing, fly, swim の絵カードを提示する。 ・スペシャル・カードを紹介し、ポイントをプラスさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート前の手の位置を英語で指示しておく。 ・何ポイント取れたかを尋ね、称揚する。 	動作絵カード
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを知る。 	<p>「友だちや家の人にインタビューをしよう。」 “Can you ~?” “Yes, I can. / No, I can't.”</p>		
・ Activity1	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で英語ノート p.26 の動作ができるかどうかを尋ね、一人ずつ答える。 Yes, I can. / No, I can't. ・列ごとで英語ノート p.26 の動作ができるかどうかを、ALTに尋ねる。Can you ~? ・全員で他に何ができるかをALTに尋ねる。What can you do? 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問の仕方を何度か聞かせた後、児童にも一緒に言うようにさせる。 		動作絵カード
		<ul style="list-style-type: none"> ・動作絵カードを見せながら、“Can you ~?” の表現を用いて、その絵の動作ができるかどうかを全員で尋ねさせる。(尋ねる相手ごとに質問を変える。) ・尋ねる内容を絵カードで示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その動作ができるかどうかを答える。 ・英語ノート p.26 の動作以外にできることがあれば、ジェスチャーを交えて答える。 	
・ Activity 2	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノート p.27 の9つの動作ができるかどうかを友だちや参観者に尋ね、できると答えた人の名前を()の中に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見つけて、英語ノート p.27 の9つの動作のうちのどれかを選び、それができると尋ね合うように言う。できると答えた人の名前を()の中に書き込ませる。 ・動作の言い方がわからない児童には、そばに寄り添って一緒に尋ねるようにする。 		英語ノート
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人で質問をするのが難しい児童の手助けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何人の人の名前が書き込めたかを尋ねる。 	
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : あることができるかどうか、尋ねたり答えたりしようとしているか。
5. 指導後の反省等: 参観日で、Activity 2 は保護者にも参加していただくことができたのがよかった。

1. 単元名 : 道案内をしよう
2. 本時のねらい : 方向や動作を指示する英語を使って、相手に目的地を伝える。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song	◎ “Let’s Start English Class” を歌う。			ネームプレート
Review and Warm up	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、キー・ワード・ゲームをする。 ・2グループに分かれて、“Where is the station?” のチャンツを言う。 ・担当を交替する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キー・ワード・ゲームのやり方を説明する。 ①建物絵カードを黒板に貼る。 ②ペアを作らせ、犬役とハンバーガー役に分かれさせる。 ③役を交替しながら、キー・ワード・ゲームをし、ポイントを数えさせる。 ④取れたポイントを尋ね、称揚する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・返答のグループと一緒に大きな声で言う。 	CD 建物絵カード
Main Topic ・ Activity	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 ・グループで道案内する。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 「グループで道案内をしよう」 “Where is ~?” “Go straight.” “Turn right / left.” “Stop.” </div>		建物絵カード
	<ul style="list-style-type: none"> ①机を1つずつ離し、縦横揃えて並べる。 ②いくつかの机の上に建物カードを並べ、地図を作る。 ③グループの中で、案内してもらおう役を一人決める。残りのメンバーは案内人役になる。 ④案内してもらおう役の児童は自分の行きたい場所を言う。 ⑤案内人は、順番に一人1つずつ方向や動作を指示する英語を言い、案内人役全員で一人を案内する。 ⑥案内してもらおう役を順に交替する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方をALTとHRTのデモンストレーションで示す。 <p>※このアクティビティでは、“Go straight.”で机の1ブロック分まっすぐ進むこと、“Turn right / left.”では体の向きを変えるのみで進まないこと、を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地に到着したら、全員で“Stop.” “It’s on your right / left.” “Here is ~.” と言うことを知らせ、言い方の練習をする。 		
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : 方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的場所を伝えようとしていたか。友だちの英語での説明を聞き取ろうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : 指示をグループで行うことで、苦手意識の強い児童もグループの友だちの協力で指示することができた。四隅から同時に各グループの道案内をスタートさせたので、スタート地点から指示を出す声が飛び交い、多少騒がしくなってしまった。

1. 単元名 : 道案内をしよう
2. 本時のねらい : 実際に案内したり、案内に従って目的地に行ったりする活動を通して道案内の表現に慣れ親しむ。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting				ネームプレート CD
Song	◎ “Let’s Start English Class” を歌う。			
Warm up	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、建物絵カードを使ってキー・ワード・ゲームをする。 			建物絵カード
・Let’s Chant	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分かれて、“Where is the station?”のチャンツを言う。 ・担当を交替する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問のグループと一緒に大きな声で言う。 ・station の部分を他の単語に換えて言う。(絵カードで示す) 	<ul style="list-style-type: none"> ・返答のグループと一緒に大きな声で言う。 	
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 「道案内をしよう」 “Where is ~?” “Go straight.” “Turn right / left.” “Stop.” </div>		
・Activity	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで道案内をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①ペアの1人はAチーム、もう一人はBチームになる。 ②Aチームが相談し、床の地図用シートの上に建物カードを並べ、地図を作る。 ③Bチームは、ペアに自分の行きたい場所を言い、相手グループの作った地図上を案内してもらおう。 ④目的地に案内できたらシールを自分のハンディ・マップに貼る。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にグループで行った活動を、今回はペアで行うことを告げる。 		地図用シート
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・やり方をALTとHRTのデモンストレーションで示す。 </div>		建物絵カード
		<ul style="list-style-type: none"> ・地図用シートに建物絵カードを並べるアドバイスをし、シールを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・待っているチームと一緒に、単語の発音練習や声のかけ方の練習をする。 	ハンディ・マップ
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・スピードを競うのではなく、相手に自分の思いを十分に伝えるために努力することを意識させる。 ・言葉でうまく表せない児童には、ジェスチャーを用いると有効であることを知らせる。 </div>		シール
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が到達した場所を答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間が来たら、チーム全体で交替させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かの児童に、到達した場所を尋ねる。 	
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : 方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的場所を伝えようとしていたか。友だちの英語での説明を聞き取ろうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : 体育館を使って、体験的に学習できた。案内する人だけが場所を知っている設定にするために、グループで地図を作る時間をとったが、その間、待つグループはALTと発音練習することができた。しかし、その流れが児童にわかりにくく、Activityの始めに多少混乱があった。

1. 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう
2. 本時のねらい : 行きたい国とその理由についての話を聞いて、その概要を理解する。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song and Chant	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◎ “Let’s Start English Class” を歌う。 ◎ “ドイツじゃなくて Germany” のチャンツを言う。 </div>			ネームプレート 国旗カード CD
Review and Warm up	・巻末絵カードを使って個人でカルタをする。	・巻末絵カードのページを開けさせ、ALTの発音したカードにタッチするように言う。	・巻末カードにどのようなカードがあるか、児童と確認する。 ・カルタをリズムよく読み上げる。	CD 巻末絵カード
Main Topic	・本時のめあてを知る。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 「行きたい国とその理由についての話を聞こう。」 “Where do you want to go?” “I want to go to ~.” </div>		
・Let’s Chant	・ “I want to go to Italy.” のチャンツを言う。 ・指導者の行きたい国、その理由についての話を聞く。 ・質問に答える。	・チャンツ絵カードを見せジェスチャーを付けながら、チャンツを紹介する。 ・ゆっくりCDに換え、フレーズごとに繰り返す。	・チャンツの内容をジェスチャーで表す。 ・児童と一緒にチャンツを言う。	チャンツ絵カード CD ゆっくりCD
・Let’s Listen 2	・英語ノート p.39 の4人の子どもと国旗を見て、それぞれの名前と国名を確認する。 ・CDを聞いて、子どもの顔と、国旗、理由の絵とを線で結ぶ。 ・代表が前に出て発表する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・英語ノート p.39 の4人の子どもたちの名前や国旗の国名をやり取りしながら紹介する。 ・英語ノート p.39 を開け、CDを聞いて子どもの顔と、行きたい国の国旗、その理由の絵とを線で結ぶように指示する。 ・スマートボードを使って答え合わせをする。前に出て発表する児童を募る。 </div>		英語ノート スマートボード
Closing	・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : 行きたい国とその理由についての話を聞くことができたか。
5. 指導後の反省等 : 複数の登場人物の SCRIPT を聞き分けるときは、音声教材が使いやすかった。ALT はキーワードを繰り返したり、発音の確認をしたりといったところを担当した。
巻末絵カードは切り取らずに個人で使ったので、時間の節約になった。

1. 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう
2. 本時のねらい : 行きたい国とその理由を言ったり、聞いたりする。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song and Chant				ネームプレート
Review and Warm up	・ “I want to go to Italy.” のチャンツを言う。	◎ “Let’s Start English Class”を歌う。 ◎ “ドイツじゃなくて Germany” のチャンツを言う。	“I want to go to ~.” と “I want to eat ~.” と “ I want to play ~.” の違いを確認する。	CD
Main Topic	・ 本時のめあてを知る。	「グループで、行ってみたい国を紹介しよう。」 “Where do you want to go?” “I want to go to ~.”		
・ Activity 1	・ “I want to go to Italy.” のチャンツの中のフレーズ を取り出して応用する。	・ 国旗絵カード、動物絵カード、動作絵カード、食べ物絵カードから適宜選択して児童に見せながら “I want to go to ~.” “I want to eat ~.” “ I want to play ~.” などと言って、児童にも繰り返させる。		国旗絵カード 動作絵カード 食べ物絵カード スポーツ絵カード
・ Activity 2	・ グループで担当する国を決める。 ・ チャンツの中に出てくる国旗の色・国・食べ物・スポーツの名等を、 グループで相談して替える。 ・ グループで自分たちの作った チャンツの練習をする。 ・ グループごとに自分たちの 作ったチャンツを発表する。 ・ 他のグループの作ったチャンツを聞いて感想をもつ。	・ 各グループの代表に国旗絵カードを1枚ひかせ、 担当する国を決めさせる。 ・ 食べ物やスポーツ以外のもの（その国の有名なものなど）を選んだグループがあれば認め、称揚する。 例：I want to see Mr.Obama. I want to see koalas. ・ 苦手意識の強い児童も参加できるように、声をかける。 ・ 手拍子やジェスチャーをつけると、みんなと合わせやすくなることをアドバイスする。	・ 発表するグループには担当した国の国旗を持って前に立つようにさせる。 ・ 各グループが発表を始めるにあたって、ALTが “Where do you want to go?” と尋ねる。 ・ 各グループの作ったチャンツに合わせて黒板に絵カードを提示し、理解の手助けとする。	絵カード
Closing	・ 振り返りをする。	・ 聞いているグループの中から数人に感想を発表させる。 ・ 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・ 内容についての感想やチャンツの仕方のよかったところについて話す。 ・ 児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : オリジナルチャンツを作るためにグループの友だちと関わろうとしていたか。
他のグループの作ったチャンツの内容を聞き取ろうとしていたか。
5. 指導後の反省等 : チャンツをそれほど喜ばないクラスであるが、この活動は純粋な好奇心をゆさぶったのか、意欲的に取り組む児童が多かった。英語を口に出すのが苦手な児童は発表のときやはり声が小さかったが、絵カードを掲示したり好きなフレーズで笑顔が出たりと、それなりの方法で参加できていた。

1. 単元名 : 将来の夢を紹介しよう
2. 本時のねらい : 様々な職業の言い方を知る。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song and Chant Review and Warm up				ネームプレート CD ボール ボール絵カード
		◎ “Let’s Start English Class” を歌う。 ◎ “マラソンじゃなくて marathon” を言う。		
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~player の言い方を思い出し、ALTにボールをパスされたら質問に答えボールを返す。 ・ 本時のめあてを知る。 ・ 様々な職業の言い方を知る。 ・ ALTの後について発音練習をする。 ・ 職業を表す言葉には、英語と日本語で似通った点があることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童のよく知っているスポーツを取り上げ、~player の言い方を思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ “What do you want to be?” と尋ねながら、ランダムに児童にボールをパスする。 	
		「様々な職業の言い方を知ろう。」 “What do you want to be?”		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかの職業の様子をジェスチャーで示し、それがどのような職業かを推測して答えさせる。職業絵カードを見せて、職業を確認する。 singer, dancer, pianist, fire fighter, cook, police officer, carpenter, ・ 職業絵カードを見せながら正しい発音を示し、練習をさせる。 teacher, doctor, nurse, vet, racing driver, pilot, astronaut, scientist, engineer, farmer, dentist, ・ つづりに着目させ、~er や~ist で終わっているものが多いことに気付かせる。日本語でも、職業を表す言葉に「~士」「~家」といった言葉があることを思い出させ、似ている点に注目させる。 		職業絵カード 絵カードを貼るとき、~er が付くもの、~ist が付くもの、それ以外に分けて貼る。
・ Let’s Play	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビンゴ・ゲーム・シートの作り方を知る。 ・ ビンゴ・ゲームをする。 What do you want to be? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末絵カードを切り取り、英語ノート p.57 のビンゴ・シートにその絵カードを並べ、ビンゴ・シートを完成するように指示する。 ・ 全員で ALT に “What do you want to be?” と聞くようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい発音を示す。聞き取りだけでわからない児童にはジェスチャーなどでヒントを与える。 ・ “What do you want to be?” の正しい発音を示す。 	英語ノート 巻末絵カード
Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の英語についてよかったところを言う。 	

4. 評価規準 : 職業を表わす単語を聞き取って、ビンゴ・ゲームを楽しむことができたか。
5. 指導後の反省等 : ビンゴ・ゲームは、1回目は1列揃えたら「ビンゴ」としたが、2回目は台紙の絵の中の1種類が出揃ったら「ビンゴ」としたので、飽きずに楽しく続けることができた。
 職業の言い方の日本語と英語との共通点探しでは、児童の中から「騎手」「歌手」のような「〇〇手」も出てきて、関心を持って取り組めた。

1. 単元名 : 将来の夢を紹介しよう
2. 本時のねらい : 様々な職業の言い方に慣れる。
3. 本時の展開

学習過程	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	準備物
Greeting Song	◎ “Let’s Start English Class” を歌う。			ネームプレート
Review and Warm up	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の言い方を思い出し、ALTについてリピートする。 ・ALTの答えた職業を聞いてカルタを取る。 ・ALTの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の言い方を、ALTについてリピートさせる。 ・全員でALTに “What do you want to be?” と尋ねさせる。 ・スペシャル・カードを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を表す語の正しい発音を示す。 ・児童の問いに対し、職業名を答える。 ・児童に “What do you want to be?” と尋ねる。 	CD 職業絵カード
Main Topic	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 ・職業を表す言葉の中には、男性と女性で違うものがあることを知る。 <p>actor / actress waiter / waitress</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、日本同様職業を表す言葉に性別による区別がなくなっていることを知る。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「職業の言い方に慣れよう。」 “What do you want to be?” “I want to be a ~.” </div>		ボール 職業絵カード
・Let’s Chant	“When I Grow Up” を言う。	<ul style="list-style-type: none"> ・数は少ないが、職業を表す言葉の中には、男性と女性で違うものがあることを知らせる。 ・日本語でも看護婦が看護師、保育が保育士と言われるようになったように、policeman より police officer が、fireman より fire fighter が一般的となっていることなどにも触れる。 		CD 回転盤 職業絵カード
・Activity	・ミッシング・ゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームのやり方を説明する。 ①2グループに分かれ、代表が一人ずつ順に前に出る。 ②代表は黒板に対して後ろ向きに立つ。その間にHRTは黒板に貼ってある職業絵カードを1枚はずす。 ③全員で “What do you want to be?” と尋ねたら、代表は黒板を見てはずされた絵カードを当てる。日本語1点、英語2点、“I want to be a ~.” 3点とする。 		
Closing	・振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	

4. 評価規準 : 職業を表す単語を聞いてわかったり、声に出して言ったりすることができたか。
5. 指導後の反省等 : 職業を表す単語は種類が多く、覚えるのが大変であると感じていたが、児童に関心のある職業の単語があったり、特徴や日本語との共通点を扱ったりしたことで、思っていた以上に声に出し練習することができた。